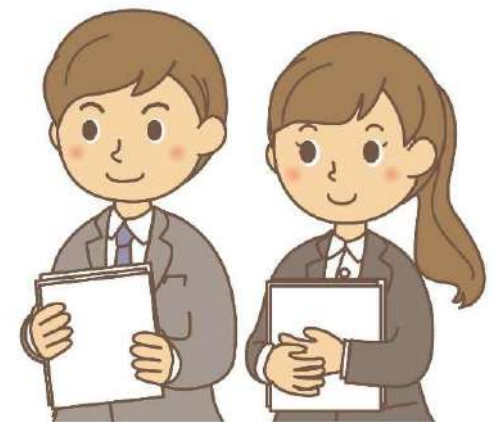


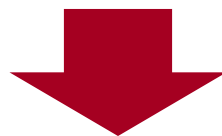
現在の「就職活動」の全体像について

～ 環境変化による就職事情と保護者の影響力とは ～



目的

現在の就職事情と保護者の影響力を知っていただく



INFO 01

「環境変化」による就活への影響

INFO 02

就職活動の全体像

INFO 03

就職活動における保護者の影響力

目的

現在の就職事情と保護者の影響力を知っていただく



「環境変化」による就活への影響



就職活動の全体像



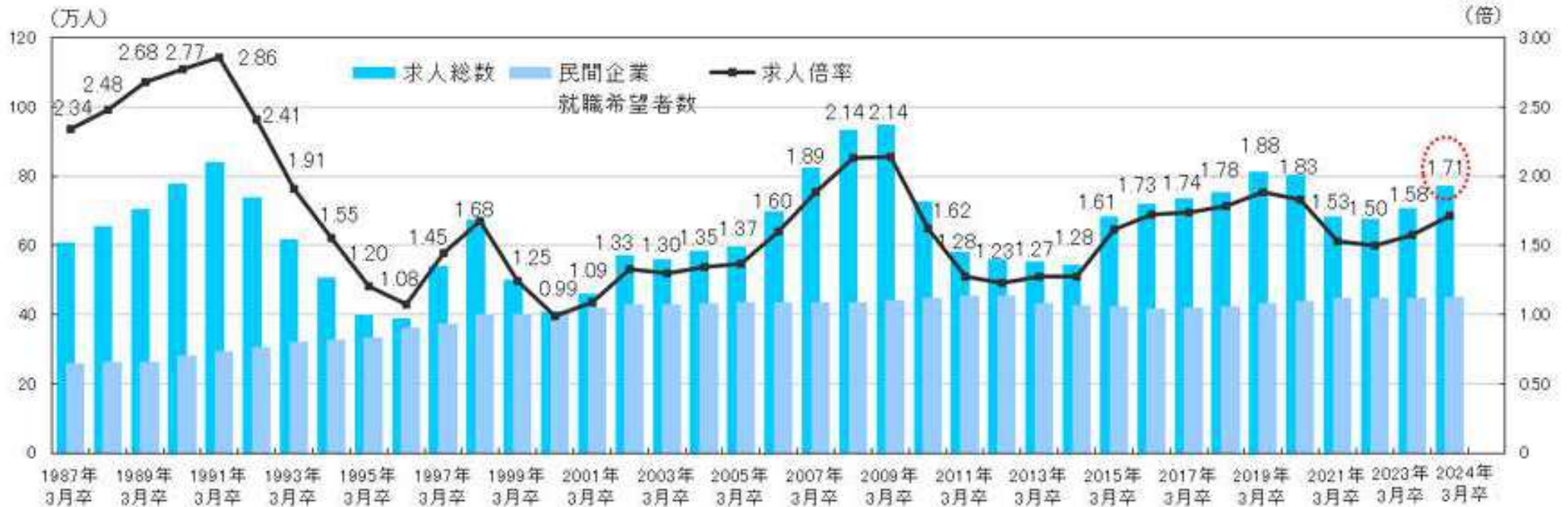
就職活動における保護者の影響力

テーマ



30年前と今の「就職活動の環境」はどのように違うのか？

求人総数および民間企業就職希望者数・求人倍率の推移



求人倍率の数字だけを見ると、高度経済成長期と大きくは変わらず、売り手市場の傾向がみられる。

しかし、環境変化が大きいいため、数字だけでは判断ができない部分が多々ある。

1990年（平成2年）

2020年（令和2年）

18歳人口

約200万人

30年
↔

約117万人

大学進学率
(短大含む)

24.6%

30年
↔

58.6%

大学学生数
(4年生全学年)

約213万人

30年
↔

約291万人

求人倍率

2.77

30年
↔

1.71 (2023年1月)

業界や企業の情報を
知るためのツールや手段

就職情報誌
ダイレクトメール（郵送）
合同企業説明会
大学就職課（キャリアセンター）

30年
↔

就職情報サイト
インターンシップ
新卒人材紹介会社
企業ホームページ、SNS
合同企業説明会
ダイレクトリクルート
大学就職課（キャリアセンター）
他 多数のツール&手段あり

環境変化によって何が起こったのか？

- 「経済状況が高度経済成長期」⇒大量採用の企業、不人気業界企業、中小企業などは今よりも簡単な選考で内定を出す傾向があった。
- 「失われた20年」⇒採用は、以前よりも慎重となる傾向あり。（エントリーシート、SPI（適性検査）、複数回の面接 等）
- 業界や企業情報は格段に入手しやすくなり、就活に意欲的な学生は、就職活動がやりやすい環境となった。一方、多くの企業にエントリーが可能となり、自由競争で倍率がとても高くなった。

目的

現在の就職事情と保護者の影響力を知っていただく



「環境変化」による就活への影響



就職活動の全体像



就職活動における保護者の影響力

テーマ

民間企業の
就活スタートは？



一般企業の就活スケジュール例



出典：マイナビホームページ (<https://2025https://job.mynavi.jp/conts/2025/susumekata>)

親世代
バブル世代
(1965年～1970年頃生まれ)



超売り手市場。
「優秀」な学生は企業の青田買いが殺到

大学の就職課（現在のキャリアセンター）に貼り出された求人票、新聞の求人広告や就職情報誌などから応募

内定者が出始める
企業から「入社案内」や「募集要項」が送られてくる

書類選考
説明会への参加や履歴書の送付
筆記試験や適性検査

面接

内定
旅行や豪華な食事などへ連れていく「内定者囲い込み」も日常茶飯事だった!?

子世代
Z世代
(1990年代中ば～2010年頃生まれ)



企業がインターンの募集を開始

売り手市場の傾向。ただ、ここ数年はコロナ禍で先が読めない状況が続いている

夏のインターン
説明会への参加
冬のインターン
エントリーシートの受付開始

インターン重視の企業では内々定を出す企業も

書類選考
筆記試験や適性検査
面接

内定者が出始める

大学3年生の6月頃

大学3年生の3月頃

大学4年生の6月頃

大学4年生の10月頃

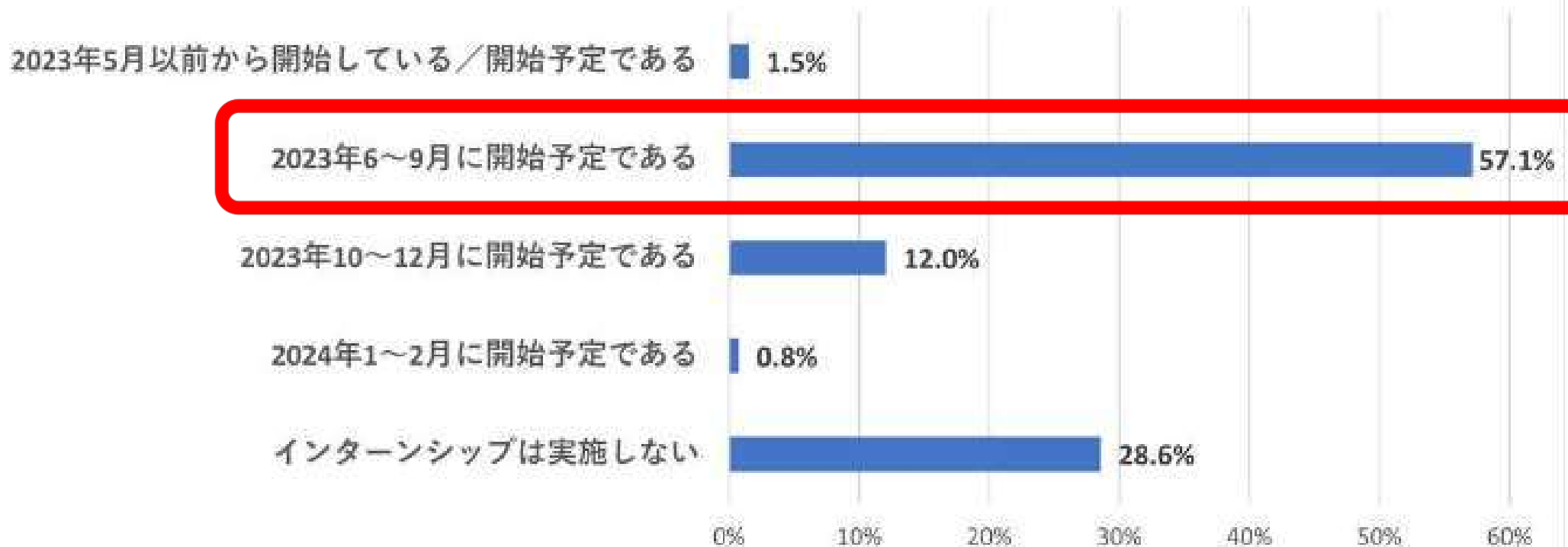
以前と比較すると
就職活動スタートは
とても早くなっている

条件によってインターンシップが採用に活用できるようになった

タイプ	主な対象	実施期間	就業体験	採用に活用
● タイプ1 オープン・カンパニー	学部生・大学院生 (学年問わず)	超短期 (1日)	なし	×
● タイプ2 キャリア教育	学部生 (学年問わず)	プログラムに よって異なる	任意	×
● タイプ3 汎用的能力・ 専門活用型 インターンシップ	大学3年生・ 修士1年生	短期:5日間 以上 長期:2週間 以上	必須	○
● タイプ4 高度専門型 インターンシップ	修士課程・ 博士課程の学生	2か月以上	必須	○

出典：NHK大学生とつくる就活応援ニュースゼミ (https://www3.nhk.or.jp/news/special/news_seminar/syukatsu/syukatsu1110/)

25卒の採用活動におけるインターンシップの開始時期について、
貴社にあてはまるものを一つお選びください。



出典：株式会社ジェイック「24卒採用の現状と課題に関するアンケート調査」(https://www.hr-doctor.com/dlcontents/dl/newgrad_recruiting_24survey.pdf)

・調査期間：2022年8月19日～2022年9月1日 調査方法：Webアンケート調査 ・対象：上場および非上場企業の人事責任者、担当者 ・提出数：有効回答146件

テーマ

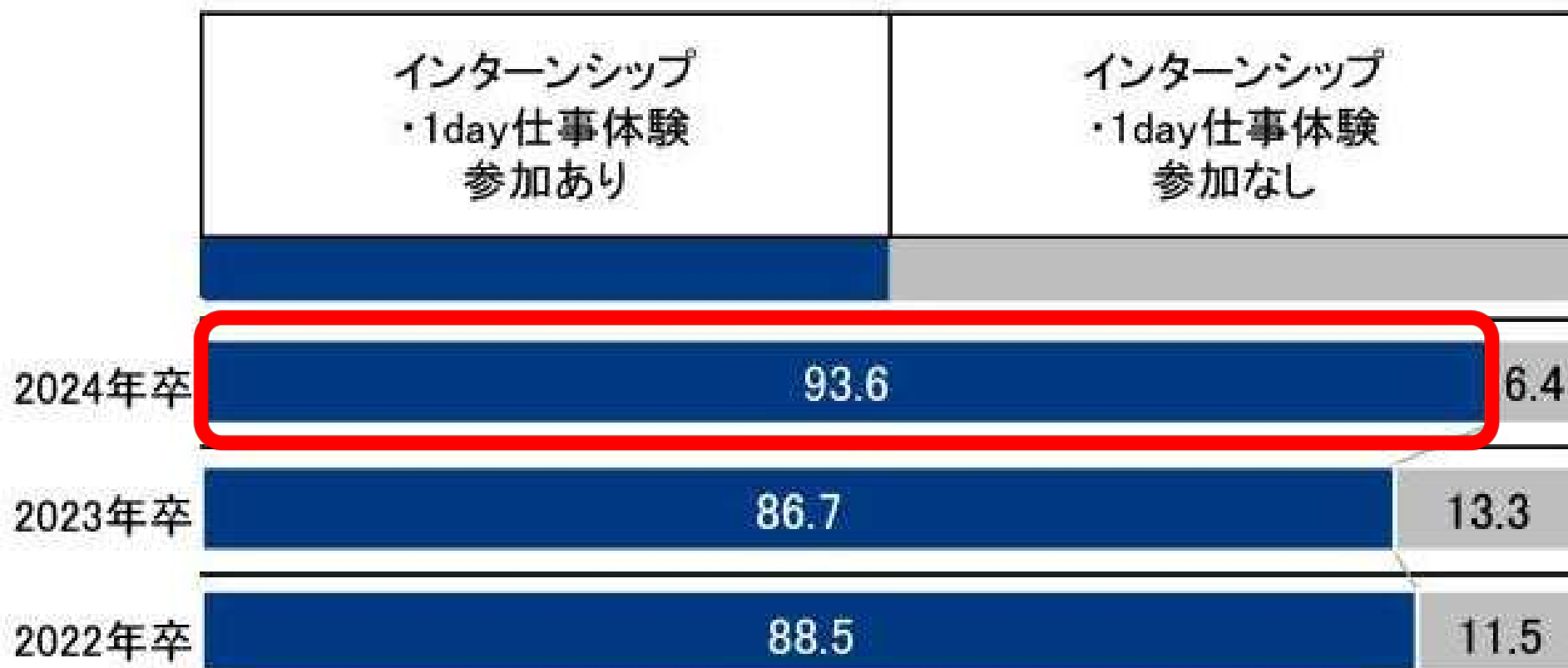
全国の大学生 & 大学院生
がインターンシップに参加して
いる率は？



インターンシップ・1day仕事体験の参加割合

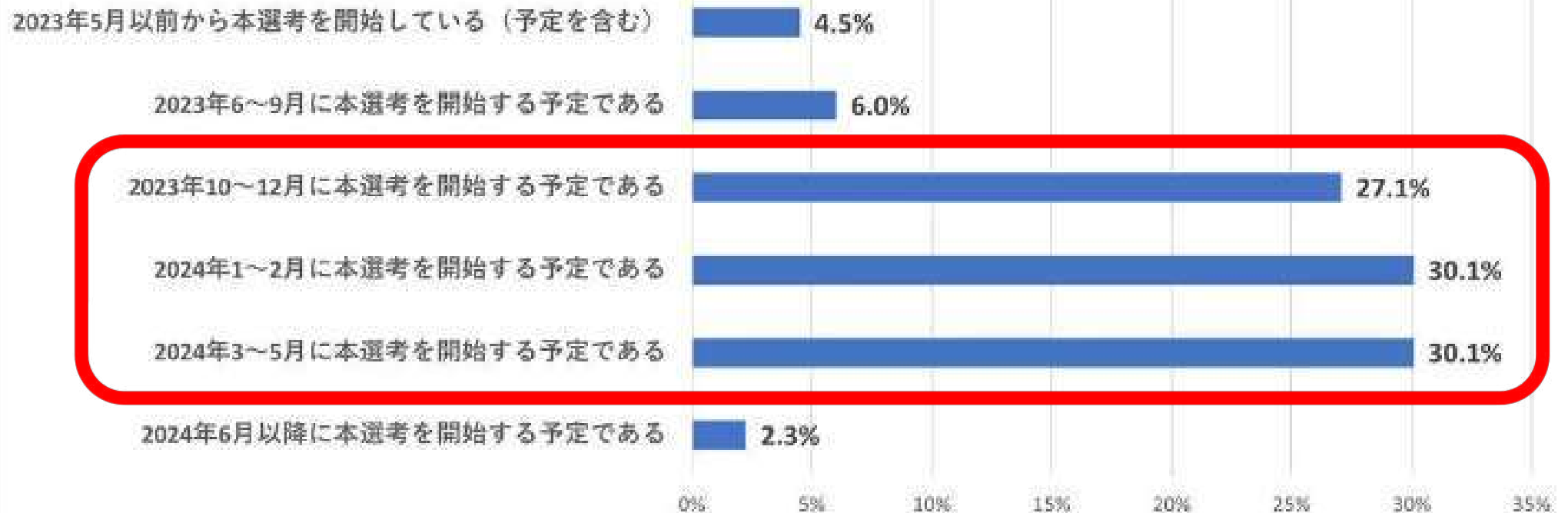
大学生_全体（就職志望者かつ就職活動経験者／単一回答）

(%)



2024年卒業予定の大学生および大学院生に対して、『リクナビ2024』(※)にて調査モニターを募集し、モニターに登録した学生3,219人(内訳:大学生2,476人/大学院生743人)

25卒採用における採用選考（本選考）の開始時期について、
貴社にあてはまるものを一つお選びください。



出典：株式会社ジェイック「24卒採用の現状と課題に関するアンケート調査」https://www.hr-doctor.com/dlcontents/dl/newgrad_recruiting_24survey.pdf
・調査期間：2022年8月19日～2022年9月1日 調査方法：Webアンケート調査 ・対象：上場および非上場企業の人事責任者、担当者 ・提出数：有効回答146件

テーマ

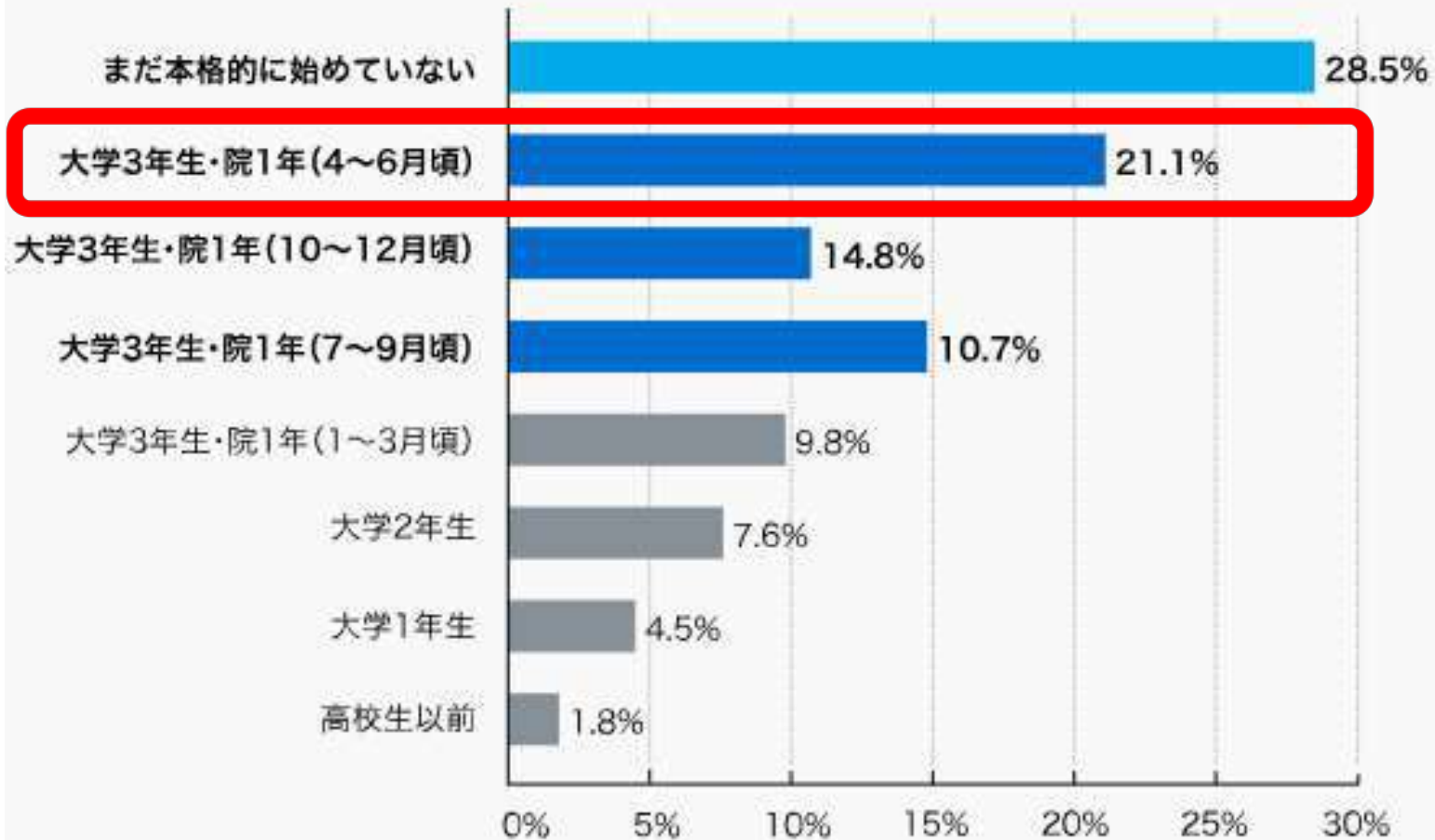
公務員の
就活スタートは？





※スケジュールは目安です。詳細は人事院や各自治体の実施要項等を確認してください。

公務員試験対策の勉強を本格的に始めたのはいつですか？



※マイナビ「23卒公務員イメージ調査(2022年2月)」より(複数回答可/回答数651)

- ・調査日 2022年1月14日(金)～2月3日(木)
- ・調査対象 マイナビ2023会員のうち「2023年春」に卒業予定の大学生・大学院生
- ・調査方法 マイナビ2023会員にメール告知・WEBフォームにて回答
- ・有効回答数 2,839件

■ 日本経済新聞（2023.11.15）

「国家公務員試験、3週間前倒し 民間の採用早期化で」

※「2024年3月17日」に1次試験を行う

■ 実務教育出版ホームページ (https://www.jitsumu.co.jp/gokaku_navi/news/202303/3018.html)

大学生が民間企業の内定を得る時期が早期化する中、自治体においても、

- ① 日程を前倒しする
- ② 6月の通常試験に加え、一部の試験区分で早期試験も行うなど、早期に実施するケースが増えています。

一次試験を4～5月※に実施する自治体（行政(事務)系区分の場合）

R5年度	R4年度	R3年度
48.6%	42.6%	36.8%

※テストセンター形式の場合、3月から受検可能な自治体もある

就職活動の変化

- 民間企業、公務員ともに早期化の傾向が強くなっている（就活の開始時期に影響）
- 民間企業の就職活動
「3年生3月スタート」⇒「3年生の夏のインターン（4年生になる1か月前） シップがスタートの場合も」
- 公務員の就職活動
「民間企業の早期化」⇒公務員試験も早期化傾向

目的

現在の就職事情と保護者の影響力を知っていただく



「環境変化」による就活への影響



就職活動の全体像

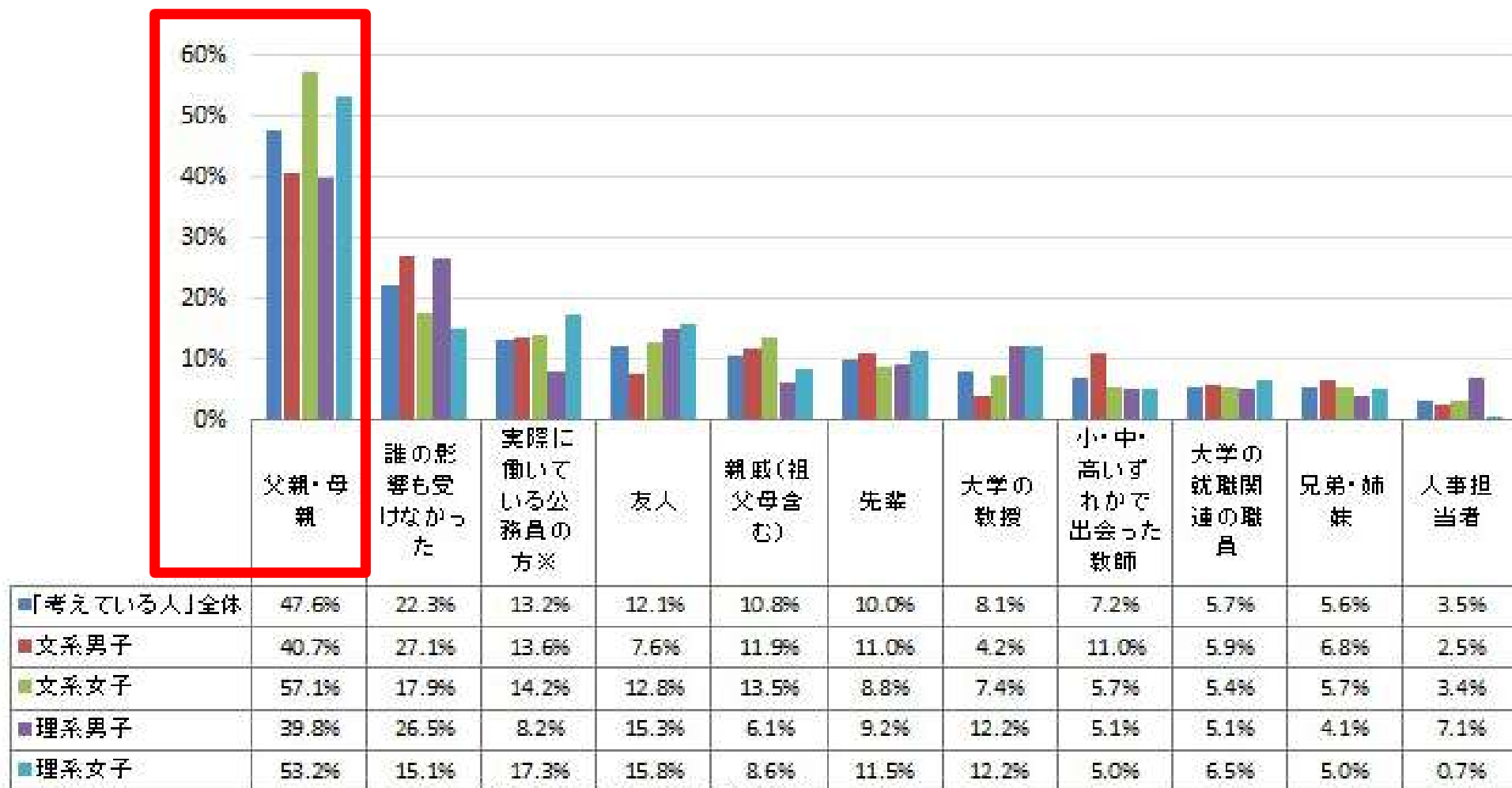


就職活動における保護者の影響力

テーマ

就職活動で
影響を受けた人は





※ インターンシップ先の職員含む

出典：マイナビ 2024年卒大学生公務員イメージ調査

調査期間 2023年1月10日(火)～1月26日(木)・実施方法マイナビ2024全会員にWEB-DMを配信。WEBアンケートにて回答。・有効回答数1,790名

■ 保護者との関わりでよかったこと（複数回答）

※大学生_就職活動経験者



※全12項目より上位10項目を抜粋（「特にない」を除く）

（就職みらい研究所『就職プロセス調査 2023年卒 2022年12月1日時点』）

出典：就職みらい研究所 就職プロセス調査（2023年卒）「2022年12月1日時点 内定状況」

・調査期間 2022年12月1日～12月5日・調査方法 インターネット調査・調査対象 2023年卒業予定の大学生および大学院生に対して、『リクナビ2023』(※)にて調査モニターを募集し、モニターに登録した学生7,626人(内訳:大学生6,254人/大学院生1,372人)・集計対象 大学生 1,173人/大学院生 360人

■ 保護者との関わりで「嫌だったこと」 (複数回答)

※大学生_就職活動経験者



※全11項目より上位8項目を抜粋(「特になし」を除く)

(就職みらい研究所『就職プロセス調査 2023年卒 2022年12月1日時点』)

出典: 就職みらい研究所 就職プロセス調査(2023年卒)「2022年12月1日時点 内定状況」

・調査期間 2022年12月1日～12月5日・調査方法 インターネット調査・調査対象 2023年卒業予定の大学生および大学院生に対して、『リクナビ2023』(※)にて調査モニターを募集し、モニターに登録した学生7,626人(内訳: 大学生6,254人/大学院生1,372人)・集計対象 大学生 1,173人/大学院生 360人

24年卒の学生に、今年就活を漢字1文字で表してもらった

23卒 順位	漢字	22卒 順位	21卒 順位	20卒 順位	理由
1	楽	2	2	1	<ul style="list-style-type: none"> 就職活動をしんどい、大変だとは思わず、自分の将来について考え夢が広がる楽しいことだと捉えて、活動していたから。(京都府立大学) 就職先で働くのが楽しみ。(宮崎大学)
2	苦	1	1	2	<ul style="list-style-type: none"> 学業との両立に非常に苦労したから。(北海道大学) 辛いし苦しいし苦勞に苦戦しているし、今のところ、苦行になっているため。(武蔵野美術大学)
3	耐	3	3	4	<ul style="list-style-type: none"> 誘を受け続け、忍耐力を養えたと思えるから。(東京経済大学) 緊張感やプレッシャーに耐えた。(東北医科薬科大学)
4	努	-	-	-	<ul style="list-style-type: none"> 妥協せず努力したため。(金沢大学) 努力が報われると思ったから。(山口大学)
5	進	-	-	-	<ul style="list-style-type: none"> 迷ったり、考えたりしながらも、最終的には自分で決断し、前に進むことができたと感じるから。(東京理科大学)
5	知	-	-	9	<ul style="list-style-type: none"> これまで知らなかった企業や、自分の能力を知ることができ、社会人という未知の世界への希望を持つことができたから。(秋田大学)
7	疲	10	-	3	<ul style="list-style-type: none"> とにかく精神的にも肉体的にも疲れたため。(北海道大学)
7	無	-	-	-	<ul style="list-style-type: none"> 心を無にして取り組んだ日々だと思うから。(都留文科大学)
9	辛	6	6	8	<ul style="list-style-type: none"> 必死に時間をかけてエントリーシートを書いたり、面接対策を行っても、不合格になったら全てが水の泡になってしまって辛いから。(関西大学)
10	迷	5	7	9	<ul style="list-style-type: none"> 選択肢がたくさんあり、迷うことが多かったため。(神戸薬科大学)

出典:マイナビ 2024年卒 学生就職モニター調査 8月の活動状況

・調査期間 2023年8月25日～2023年8月31日 ・調査対象 2024年卒業予定の全国大学4年生及び院2年生 ・調査方法 Web上のアンケートフォームより入力 ・有効回答数 1,629名

保護者の影響

- 就職活動では**保護者の方の影響が大きい**ことが明らかとなっている。（例、親カク）
- **励まし、支え、個性を尊重、普段と同じ態度**という寄り添い方を欲している傾向がある。
- 「**保護者のイメージや主観のゴリ押し**」「**キャリア観のずれ**」「**今どきをわかっていない**」ことが嫌だったという回答も。（例、親ブロック）